

令和4年度 社会福祉法人ひなの家 事業報告書

(一) 概括と成果

(1) はじめに

1. 昨年に続くコロナウイルス感染症防止に全力を尽くしながらの事業展開となった。いっこうに収まりを見せない中ではあるがマスク着用をはじめとした感染対策を徹底しながら、利用者の安全と健康を第一に考え、柔軟な対応と創造的なアプローチを通じて、質の高いサービスの提供を継続している。
2. これまでの3年間にわたるコロナ過における事業展開では、障がい福祉サービス事業所は大きな苦労と努力を重ねながらも、着実な成長を遂げてきた。感染拡大のリスクに直面しながらも、徹底した感染対策と安全管理を実施し、利用者とスタッフの健康と安全を最優先とした。同時に、オンラインや遠隔サービスの導入や柔軟な働き方の実現により、サービスの提供を継続することができた。
3. また、利用者のニーズに応えるために新たなプログラムや支援サービスを提供し、その結果、利用者の満足度や利用者の増加、利用者工賃の目標達成につながった。このような努力と工夫が実を結び、事業所は成果を上げながら持続的な成長を遂げている。今後も変化する状況に対応しながら、利用者の日中活動及び日常生活の向上を追求するために努力を続けていく。

(2) 利用者の日常生活

1. コロナ過での日中活動及びグループホームでの日常生活にあって、積極的に野外活動やリフレッシュ活動を導入してきた。これにより、生き生きとした日常生活を送りことを可能にし、精神的な安定を促進している。これらの取り組みにより、利用者は新たな経験や刺激を得ることができ、自己成長や自己表現の機会を享受していると感じている。
2. 特に、野外での活動によって自然の恩恵を受けることで、心身の健康をサポートしているものと考えられる。さらに、集団での活動や交流により、コミュニケーション能力や社会的スキルの向上が期待されることから引き続いて、継続的な取り組みとして定着させていく。
3. コロナ過でのこのような取り組みの成果は、利用者の生活の質の向上と共に、施設全体の活気と連帯感をもたらしている。

(3) 働きやすい職場環境

1. 障害福祉サービス事業所では、IT活用による職員処遇と働きやすい職場を実現するため、様々な設備の導入に取り組んだ。インカムシステムの導入により、職員同士のコミュニケーションをスムーズにし、迅速な情報共有を実現した。これにより、業務効率が向上し、スタッフの負担軽減と作業の円滑化が図られた。
2. また、労働環境の改善の一環として、事務作業の効率向上のための職員室の改善や快適な休息スペースを整備した。これにより、職員はリフレッシュやストレス解消ができる環境を提供することができ、働きやすさが向上した。

- さらに、柔軟な勤務形態の実現のために、テレワーク環境の整備やオンライン会議システムの導入も行った。これにより、職員は自宅や遠隔地からでも業務に参加できるようになった。IT活用と設備の導入により、職員の働きやすさと満足度が向上し、結果として利用者への質の高いサービス提供につながっている。

(4) 人材の確保に向けて

- 職員の確保に向けて、福祉の総合フェア、職場見学会など様々な機会をとらえて求人活動を行った。また、随時求人案内を出し採用を図ってきた。高校新卒者1名を含む就労B型=1名、生活介護=3名、ホーム=2名、ホーム夜勤7名を採用することができた。
- 職員確保は深刻な課題と考える。人口減少や高齢化により労働力不足が進み、施設運営に必要なスキルと情熱を持った職員を確保することが困難な状況を迎えている。この課題に対処するためには、外国人労働者の採用と獲得に本腰を入れる必要がある。外国人労働者は多様な背景や経験を持ち、施設に新たな視点やアイデアをもたらす可能性がある。そのため、異文化や言語の壁を乗り越えるための教育やサポート体制の整備、柔軟な雇用条件や労働環境の改善を等行いながら、積極的に外国人労働者の採用に取り組む必要がある。これにより、職員確保の問題を解決し、質の高い支援とサービスの提供を継続することができると期待する。
- 職員待遇の改善については、従来からの処遇改善手当、その他の特定手当、そして昨年度新たに設けられた「福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金」の制度を活用した処遇改善を行ってきた。

(5) 広報活動の推進

- 高度情報化社会に対応して、SNSの利活用に注力し、広報活動を推進してきた。特にインスタグラムを通じた情報発信は大きな成果を上げている。施設内の様子や日中の活動風景を発信することで、利用者のリアルな情報を家族等に提供できた。
- また、ホームページとのリンクを通じて、法人や事業所の紹介にも繋がっていると感じる。昨年暮れの行事の動画は15,000人以上の方が視聴され、注目度の高さを示した。さらに、直近では、300人以上のフォロワーを獲得できている。これらの取り組みは、SNSを利活用した広報活動の成功を実証している。

(二) 障害福祉サービス事業活動の状況

(1) 障害福祉サービス事業所（令和5年3月31日現在）

事業所名	種別	指定（開所）年月日	定員
障害福祉サービス事業所ひなの家	就労B型	平成19年2月1日	12
障害福祉サービス事業所ひなの家	生活介護	平成24年9月1日	36
障害福祉サービス事業所ホームファイト	共同生活援助	平成18年4月1日	26
障害福祉サービス事業所ホームファイトII	共同生活援助	令和2年4月1日	10
短期入所事業所ひなの家	短期入所	令和2年4月1日	1
移動支援事業所ひなの家	地域生活	平成18年4月1日	—
相談支援事業所ひなの家	地域定着	平成29年6月1日	—

桂川障がい者相談支援センター	特定相談	令和2年4月1日	-
----------------	------	----------	---

(2) 指定事業所の指定変更等

1. 桂川障がい者相談支援センター 令和4年4月1日～休止届

(3) 事業種別ごとの利用者の状況

事業種別	開所日	延べ利用者数	一日平均利用者数
就労継続支援 B 型	269	3,120	11.5
生活介護	269	9,573	35.5
共同生活援助（介護包括型）	365	8,965	24.5
共同生活援助（日中支援型）	365	3,640	9.9
短期入所	365	117	0.3
移動支援	365	195	0.5
地域定着	257	0	0
特定相談	休止	0	0

(4) 事業種別毎の障がい支援区分の状況（令和5年3月31日現在）

事業種別	他	①	②	③	④	⑤	⑥	計
就労 B 型	3		2	1	4	2		12
生活介護					6	11	19	36
共同生活援助 （介護包括型）			1	1	6	7	11	26
共同生活援助 （日中支援型）					1	3	6	10

(5) 就労支援事業の状況

1. 就労支援事業の収支の状況

科 目	令和4年度	令和3年度	令和2年度
就労支援事業収益	29,124,693	24,536,854	21,910,566
就労支援事業費用	26,701,295	24,981,793	21,921,457
製造原価	22,974,806	21,223,260	19,326,789
販売管理	3,726,489	3,758,533	2,594,668
収支差額	2,423,398	-444,939	-10,891

2. 就労支援（生産活動）事業による工賃支給の状況

事業種別	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和1年度
就労 B 型	5,663,026	4,812,894	4,860,019	7,266,770
生活介護	3,322,163	3,579,443	4,014,390	3,591,397
合計額		8,392,337	8,874,409	10,858,167

3. 就労継続支援 B 型の目標工賃達成状況（平均月額）

科 目	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度	令和 1 年度
目標工賃額	42,110	41,285	40,475	39,682
支給工賃額	40,163	36,187	33,750	31,104
全国平均支給額		16,507	15,776	16,369
福岡県平均支給額		14,691	13,673	14,215

(6) 事業所の職員の配置状況

1. 事業区分毎の職員の配置状況（令和 5 年 3 月 31 日現在）

種別 職種	ひなの家		ホームファイト	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤
管理者	1		1	
サービス管理責任者	1		2	
生活支援員	13	6	9	2
職業指導員		1		
目標工賃達成指導員	1			
相談支援専門員	1			
世話人			3	13
夜間支援員			12	7
看護師	1		1	1
医師		1		
ヘルパー（登録）	3		3	2
調理員	1		1	
送迎員		1		
計	22	9	32	25

* 種別及び職種において一部兼務職員を含む

2. 職員の資格取得の状況（令和 5 年 3 月 31 日現在）

- 社会福祉施設長資格認定講習課程修了者 2名
- サービス管理責任者 6名
- 児童発達支援管理責任者 1名
- 社会福祉士 1名
- 介護福祉士 11名
- 強度行動障害支援者養成研修修了者（基礎） 11名
- 強度行動障害支援者養成研修修了者（実践） 10名
- 看護師（准看） 1名
- 看護師（正看） 4名
- 保母 1名
- ヘルパー 2級 9名
- 知的障害援助専門員資格 2名
- 障害者支援のための研修修了者 1名
- 手話奉仕員養成講座修了者 1名

(三) 苦情及びヒヤリハット等の状況

- (1) 第三者委員会に報告すべき苦情等はありませんでした。
- (2) 所轄庁等（福岡県及び援護市町村）に報告すべき事故等はありませんでした。
- (3) 事故（ヒヤリハット）等に関する事案

ヒヤリハット事案	令和4年度	令和3年度	令和2年度
車輛等に関する事案	4	4	4
火災等に関する事案	0	0	0
食中毒等に関する事案	1	3	0
物品破損等に関する事案	14	4	0
服薬等に関する事案	12	11	14
就労作業中の事案	4	4	8
その他（支援方法等）	15	13	12

(四) 防災及び避難訓練等の実施状況

(1) ひなの家

開催年月日	時間	場所	内容
令和4年6月3日	10:30	本体施設	通報・避難・点検・連絡網
令和4年6月3日	14:00	パン工房	通報・避難・点検・連絡網
令和4年10月20日	10:30	パン工房	通報・避難・点検・マニュアル
令和4年10月27日	14:00	本体施設	通報・避難・点検・マニュアル

(2) ホームファイト

開催年月日	時間	場所	内容
令和4年7月25日	13:00	ホーム全館	通報・避難・点検・連絡網
令和4年12月12日	19:45	ホーム全館	通報・避難・点検・連絡網

(五) 生計困難者に対する相談支援

- (1) 地域における公益的取り組みを実施する責務に基づき「ライフレスキュー事業」に継続的に取り組む。
 - 1. 事業種別を越えて桂川町内の八つの社会福祉法人による「連絡会」が組織されて、生活困難者等に対するライフレスキュー活動を継続している。
 - 2. 桂川町、飯塚市、嘉麻市の生活圈域において、「嘉飯桂連絡会」が組織されて、生活困難者等に対するライフレスキュー活動を継続している。
 - 3. ひなの家としては、生活困難者宅の清掃作業に職員を派遣するとともに、就労事業で製造した食パンの無償提供及び不登校生徒への弁当を無償で提供するなどの取り組みを継続している。
 - 4. ライフレスキュー・サポーター養成研修受講により4名の職員がサポーター資格を取得している。
- (2) 町社協との連携による「制度のはざま」に苦しむ方への支援。
 - 1. 「ライフレスキュー事業」とは別に社会福祉法人の使命としてひなの家では、就業

困難者への支援活動に取り組んでいる。町社協との連携による情報共有を行い、若年者の引きこもりや就業困難者の存在を明らかにした。社会から孤立した状況にある方々には制度の支援が届きにくい状況にある。

2. こうした状況にある方とのつながりを大切にしている。満足に食事がとれていない児童・生徒に対する朝食や昼食用弁当の提供といったこれまでの取り組みを活かして、まずは食事の提供からはじめている。
3. 「制度のはざま」で支援を求める方に対する継続的な取り組みに加え、こうした状況にある方々が社会とつながるための取り組みも必要である。社会参加や社会復帰のサポート、職業訓練や雇用斡旋など、より包括的な支援策が求められる。

(六) 法人組織の状況

(1) 法人の理念及び事業目的

1. 基本理念

ひなの家は、障がいがあっても、介護を必要としても、住み慣れた地域で、自立した自分らしい生活ができるように、働く（就労）、暮らす（生活）、生きがい（社会参加）を総合的に支援することで、共生社会の実現をめざす。

2. 事業目的

多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として次の社会福祉事業を行う。

《第二種社会福祉事業》

- (イ) 障害福祉サービス事業所ひなの家の経営
- (ロ) 障害福祉サービス事業所ホームファイトの経営
- (ハ) 障害福祉サービス事業所ホームファイトIIの経営
- (ニ) 短期入所事業所ひなの家の経営
- (ホ) 移動支援事業所ひなの家の経営
- (ヘ) 相談支援事業所ひなの家の経営
- (ト) 桂川障がい者相談支援センターの経営
- (チ) 生計困難者に対する相談支援事業

(2) 法人の組織

1. 役員（理事・監事）

役職	氏名	就任年月日	選任要件
理事長	原 和人	平成 16 年 3 月 23 日	社会福祉事業の経営に識見を有する者
理事	谷口 裕教	令和元年 6 月 22 日	事業区分の福祉に関する実情に通じている者
理事	渡 明雅	令和元年 6 月 22 日	社会福祉事業の経営に識見を有する者
理事	原 裕子	平成 16 年 3 月 23 日	当該施設の管理者
理事	中川 利栄	平成 18 年 3 月 23 日	事業区分の福祉に関する実情に通じている者
理事	山崎 真史	平成 29 年 4 月 1 日	事業区分の福祉に関する実情に通じている者
監事	古賀省一郎	平成 29 年 4 月 1 日	財務管理について識見を有する者

監事	山本 真嗣	令和元年6月22日	社会福祉事業について識見を有する者
----	-------	-----------	-------------------

2. 評議員

氏名	就任年月日	選任要件
吉田 二郎	平成15年11月5日	社会福祉法人の適正な運営に関する識見を有する者
堺 綾子	平成15年11月5日	社会福祉法人の適正な運営に関する識見を有する者
青柳 明彦	平成25年11月5日	社会福祉法人の適正な運営に関する識見を有する者
花田 史	平成27年11月5日	社会福祉法人の適正な運営に関する識見を有する者
島田つねよ	平成29年4月1日	社会福祉法人の適正な運営に関する識見を有する者
三宅 浩志	令和元年6月4日	社会福祉法人の適正な運営に関する識見を有する者
天野 義則	令和3年6月26日	社会福祉法人の適正な運営に関する識見を有する者

(3) 理事会の開催状況

開催日時(回)	出席者数	決議・承認事項
令和4年6月4日 (第20期第87回)	理事6名 監事2名	①令和3年度事業報告②令和3年度決算報告③令和3年度監事監査報告④就業規則の一部変更⑤給与規程の一部変更⑥準職員給与規程の一部変更⑦育児介護休業規程の一部変更⑧定時評議員会の開催
令和4年6月21日 (第20期第88回)	(書面決議)	①苦情解決に関する規程の制定②第三者委員の選任③工事請負契約の締結④経営職者の昇給
令和4年10月7日 (第20期第89回)	(書面決議)	①身体拘束廃止適正化委員会規程の制定②工事請負契約の締結③第1次補正予算
令和5年3月25日 (第20期第90回)	理事6名 監事2名	①令和5年度事業計画②令和5年度予算③令和4年度第2次補正予算④定款の一部変更⑤福岡県実地指導の実施報告⑥理事長の職務執行状況の報告⑦令和5年度組織及び人事体制

(4) 評議員会の開催状況

開催日時(回)	出席者数	決議・承認事項
令和4年6月25日 (第20期第47回)	評議員5名 理事6名 監事2名	①令和3年度事業報告②令和3年度決算報告③令和3年度監事監査報告④令和4年度事業計画⑤令和4年度予算⑥虐待防止委員会規程の制定⑦虐待防止委員長の選任⑧苦情解決に関する規程の制定⑨第三者委員の選任

(5) 監事監査の開催状況

開催日時(回)	出席者数	決議・承認事項
令和4年5月21日 (第20期第47回)	監事2名 理事長 施設長	①法人資産及び財務管理状況②定款及び各種規程③理事会及び評議員会その他の重要な会議④施設の運営状況

(6) 評議員選任・解任委員会の開催はありませんでした。

(7) 法人の経営状況

1. 法人単位の資金収支の状況

科目	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和1年度
事業活動収入	353,302,550	346,004,482	319,920,979	299,568,198
事業活動支出	278,981,790	272,200,265	260,564,104	254,003,457
施設整備等収入	1,000,000	0	0	0
施設整備等支出	27,657,466	19,617,692	22,956,328	13,225,744
その他の活動収入	9,106,188	0	0	0
その他の活動の支出	24,606,188	16,000,000	15,500,000	4,000,000
当期資金収支差額	32,163,294	38,186,525	20,900,547	28,338,997
当期末支払資金残高	216,100,213	183,936,919	145,750,394	124,849,847

2. 法人単位の事業活動の収益の状況

科目	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和1年度
サービス活動収益	349,769,828	343,936,651	318,891,674	294,125,185
サービス活動費用	302,290,036	295,664,039	287,865,015	283,297,569
サービス活動外収益	3,532,722	2,109,631	1,029,305	5,443,013
サービス活動外費用	540,054	3,168,450	1,931,460	2,087,839
特別収益	11,838,588	0	0	0
特別費用	11,348,588	134,299	0	0
当期活動増減差額	50,962,460	47,079,494	30,124,504	14,182,790
次期繰越活動増減差額	397,631,218	358,668,758	321,589,264	301,964,760

3. 法人単位の資産・負債の状況

科目	令和4年度	令和3年度	令和2年	令和1年度
流動資産	233,479,330	201,912,428	164,720,222	142,315,332
固定資産	324,066,203	316,642,364	319,047,913	314,660,404
(資産合計)	557,545,533	518,554,792	483,768,135	456,975,736
流動負債	28,212,717	28,809,109	31,918,500	29,384,557
固定負債	31,690,800	39,524,400	44,886,768	46,789,840
(負債合計)	59,903,517	68,333,509	76,805,268	76,174,397
純資産の合計額	497,642,016	450,221,283	406,962,867	380,801,339

4. 積立金の状況

科目	積立目的	積立額	累計額
施設整備等積立金	施設及び設備を整備するため	12,000,000	36,000,000
修繕積立金	グループホームの修繕補修のため	0	500,000
退職給付引当金	職員退職金のため	3,000,000	20,000,000
積立金合計額		15,000,000	56,500,000

5. 借入金の償還状況

借入年度	資金の目的	借入額	当年度償還額	償還残額
平成26年度	ひなの家施設整備	45,000,000	4,516,560	10,918,000
平成26年度	ホーム5号館改修	10,000,000	991,440	
平成29年度	ホーム2・4号館建設	30,000,000	4,296,000	8,520,000

借入金合計額	85,000,000	9,804,000	18,538,000
--------	------------	-----------	------------

(七) 施設整備等の状況

- (1) ホーム職員管理棟倉庫新築工事
所在地 嘉穂郡桂川町大字土師 4228 番地 5
事業費 1,742,400円
内 容 管理棟倉庫の新設
- (2) ひなの家パン工房床板張替工事
所在地 嘉穂郡桂川町大字土師 4238 番地 4
事業費 1,934,900円
内 容 パン工房2階作業室の床板全面張替
- (3) ホーム新館(2・3号館)及び管理棟シャッター設置工事
所在地 嘉穂郡桂川町大字土師 4228 番地 5
事業費 5,390,000円
内 容 防災用シャッターの新設
- (4) 給湯器の整備
所在地 嘉穂郡桂川町大字土師 3268 番地
事業費 407,000円
内 容 ホーム5号館給湯器の入れ替え
- (5) 談話室の整備
所在地 嘉穂郡桂川町大字土師 4228 番地 5
事業費 339,581円
内 容 ホーム2号館談話室ソファー入替
- (6) 映像機器の整備
所在地 嘉穂郡桂川町大字土師 3267 番地 1
事業費 202,000円
内 容 本体施設にテレビモニター(58型4Kテレビ)を設置
- (7) 装飾物の整備
所在地 嘉穂郡桂川町大字土師 3268 番地 1
事業費 300,000円
内 容 絵画の新規購入
- (8) 空調器具の整備
所在地 嘉穂郡桂川町大字土師 4238 番地 4
事業費 120,000円
内 容 パン工房の空調エアコンの入れ替え
- (9) 事務器具の整備
所在地 嘉穂郡桂川町大字土師 3268 番地 1
事業費 213,070円
内 容 勤怠管理器具の入れ替え
- (10) 本部事務所の移転整備
所在地 嘉穂郡桂川町大字土師 4228 番地 5 (ホーム管理棟)

事業費 4,560,259円

内容 本部事務所移転に伴う事務用机等一式の購入

(八) 補助金、助成金、寄付金等

(1) 補助金

1. 福岡県 ICT 導入支援事業補助金 990,000円
2. 福岡県福祉・介護職員処遇改善支援事業補助金 3,069,667円

(2) 助成金

報告すべき助成金はありませんでした。

(3) 寄付金

報告すべき寄付金はありませんでした。

(4) その他

1. 福岡県福祉施設等物価高騰対策支援金 1,398,000円

(九) 所轄庁による監査等の状況

(1) 社会福祉法人に対する指導監査はありませんでした。

(2) 障害福祉サービス事業所に対する実施指導

1. 共同生活援助及び短期入所事業所に対する実地指導

日時 令和5年1月31日(火) 10:00~17:00

場所 ひなの家法人本部

指摘事項 ①重要事項説明書について

- ・障害者総合支援法に名称を訂正
- ・主たる対象者を運営規程と整合
- ・第三者評価の実施状況の有無
- ・食事代等費用を運営規程と整合
- ・苦情受付機関として支給決定市町村の追記

②個人情報使用について

- ・文書により利用者及び家族の同意を得ること

③その他

- ・衛生管理等に係る取組及び業務継続に向けた計画等の作成について
委員会の開催などの措置を講じること

(3) 集団指導

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、リモート形式(WEB上での動画配信)で実施され、通所系(就労B型、生活介護、短期入所)及び共同生活援助、一般相談の各分野の指導を受けた。

(十) 定款変更

変更なし

(十一) 社会福祉法人登記事項

1. 資産変更登記 令和4年6月27日 資産総額 450,221,283円